

④ なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。

※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。

3-2-1 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ 土木工事	I 出来形	土木工事	配点：+10	配点：+7.5	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-10	配点：-20
			<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」のうち4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」のうち3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」のうち3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」のうち2項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> U1 出来形管理図及び出来形管理表に創意工夫がある。 <input type="checkbox"/> U2 自社の管理基準を設定し、管理している。 <input type="checkbox"/> U3 出来形測定において、不可視部分が写真で的確に判断できる。 <input type="checkbox"/> U4 写真撮影要領の撮影項目、時期、頻度を満足している。 <input type="checkbox"/> U5 出来形管理基準が定められていない工種について、監督員と協議の上で管理されている。 <input type="checkbox"/> U6 管理図の記載内容が正確で整理が行き届いている。 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照。						
			① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。 ② 出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状寸法である。 ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づく形状寸法を確保する管理体制である。 ④ 出来形管理項目を設定していない工事は「C」評価とする。						
			※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。						

工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表

(第三次評定者)

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

考查項目	細別	工種	a 配点：+10	a' 配点：+7.5	b 配点：+5	b' 配点：+2.5	c 配点：0	d 配点：-10	e 配点：-20																
3 出来形及び出来ばえ ― 共通工事 ―	I 出来形	機械設備工事・電気設備工事	<input type="checkbox"/> 出来形管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている	<input type="checkbox"/> 出来形管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 出来形管理がやや劣っている	<input type="checkbox"/> 出来形管理が劣っている																
			評価対象項目（赤字の番号は必須評価対象項目）							<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。														
			01. 据付に関する出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図などを工夫していることが確認できる。 02. 設備全般にわたり、形状及び寸法の実測値が許容範囲内であり、出来形の確認ができる。 03. 機器等の測定（試験）結果が、その都度管理図表などに記録され、適切に管理していることが確認できる。 04. 施工管理基準の撮影記録が撮影基準を満足し、出来形の確認ができる。 05. 設計図書で定められていない出来形管理項目について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。 06. 不可視部分の出来形が写真で確認できる。 07. 塗装管理基準等の塗膜厚管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 08. 溶接管理基準等の出来形管理が適切にまとめられており、出来形の確認ができる。 09. 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。 10. 設計図書に定められている予備品に不足が無いことが確認できる。 11. 分解整備における既設部品等の摩耗、損傷等について、整備前と整備後の老化状況及び回復状況が図表等に記録。 12. 設備の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおりに施工していることが確認できる。 13. 配管及び配線が設計図書又は承諾図書通り敷設していることが確認できる。 14. 測定機器のキャリブレーションを定期的実施していることが確認できる。 15. 行先などを表示した名札がケーブルなどに分かり易く堅固に取り付けている。 16. 配管及び配線の支持間隔や絶縁抵抗等について、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 17. その他（理由：.....）																						
			※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。																						
			<table border="0"> <tr> <td>評価値が90%以上</td> <td>...</td> <td>a</td> <td rowspan="5" style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 評価方法 ① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□をチェックした評価項目数を母数とし、右□をチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。 </td> </tr> <tr> <td>評価値が80%以上～90%未満</td> <td>...</td> <td>a'</td> </tr> <tr> <td>評価値が70%以上～80%未満</td> <td>...</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>評価値が60%以上～70%未満</td> <td>...</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>評価値が60%未満</td> <td>...</td> <td>c</td> </tr> </table>							評価値が90%以上	...	a	評価方法 ① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□をチェックした評価項目数を母数とし、右□をチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。	評価値が80%以上～90%未満	...	a'	評価値が70%以上～80%未満	...	b	評価値が60%以上～70%未満	...	b'	評価値が60%未満	...	c
評価値が90%以上	...	a	評価方法 ① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□をチェックした評価項目数を母数とし、右□をチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																						
評価値が80%以上～90%未満	...	a'																							
評価値が70%以上～80%未満	...	b																							
評価値が60%以上～70%未満	...	b'																							
評価値が60%未満	...	c																							
			評価値（%）：― 評定：―																						
			※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。																						

3-2-3 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																				
3 出来形及び出来ばえ 建築工事	I 出来形	建築工事	配点：+10	配点：+7.5	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-10	配点：-20																				
			<input type="checkbox"/> 出来形管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 出来形管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形管理が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形管理が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																				
			<p>評価対象項目</p> <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01. 承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02. 施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03. 出来形確認記録の内容が、適切であり、出来形が確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04. 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05. 不可視部分となる出来形が、工事写真で的確に確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>06. 設備等の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>07. 現場の施工が良好で、精度の高い出来形となっている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>08. 出来形が容易に把握できるように、出来形管理が工夫されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>09. 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の数量等が確認でき、適切に処分していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10. その他（理由： _____）</td></tr> </table> <p>※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。</p>							<input type="checkbox"/>	01. 承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02. 施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	03. 出来形確認記録の内容が、適切であり、出来形が確認できる。	<input type="checkbox"/>	04. 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	05. 不可視部分となる出来形が、工事写真で的確に確認できる。	<input type="checkbox"/>	06. 設備等の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	07. 現場の施工が良好で、精度の高い出来形となっている。	<input type="checkbox"/>	08. 出来形が容易に把握できるように、出来形管理が工夫されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	09. 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の数量等が確認でき、適切に処分していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	10. その他（理由： _____）
<input type="checkbox"/>	01. 承諾図等が、設計図書を満足していることが確認できる。																												
<input type="checkbox"/>	02. 施工図等が、設計図書を満足していることが確認できる。																												
<input type="checkbox"/>	03. 出来形確認記録の内容が、適切であり、出来形が確認できる。																												
<input type="checkbox"/>	04. 現場における出来形が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。																												
<input type="checkbox"/>	05. 不可視部分となる出来形が、工事写真で的確に確認できる。																												
<input type="checkbox"/>	06. 設備等の据付、固定方法が、設計図書又は承諾図書のとおり施工していることが確認できる。																												
<input type="checkbox"/>	07. 現場の施工が良好で、精度の高い出来形となっている。																												
<input type="checkbox"/>	08. 出来形が容易に把握できるように、出来形管理が工夫されていることが確認できる。																												
<input type="checkbox"/>	09. 解体又は撤去工事の場合、撤去対象物の数量等が確認でき、適切に処分していることが確認できる。																												
<input type="checkbox"/>	10. その他（理由： _____）																												
			評価値が90%以上 . . . a 評価値が80%以上～90%未満 . . . a' 評価値が70%以上～80%未満 . . . b 評価値が60%以上～70%未満 . . . b' 評価値が60%未満 . . . c	評価方法 ① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□をチェックした評価項目数を母数とし、右□をチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数 ④ なお、左□をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																									
			評価値(%)：— 評定：—																										
			※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。																										

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の口にレマークを記入する。

審査項目	細別	工程	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	道路改良	記点：+15	記点：+12	記点：+7.5	記点：+4	記点：0	記点：-12.5	記点：-25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。 <input type="checkbox"/> bより優れている。 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきは別紙-4参照	<input type="checkbox"/> bより優れている。 <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。 <input type="checkbox"/> cより優れている。 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきは別紙-4参照	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。 <input type="checkbox"/> cより優れている。 <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきは別紙-4参照	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。		
評価対象項目 【土工事】 U1 雨水等による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 U2 段切り等が施工前に適切に行われていることが確認できる。 U3 置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を崩さないように施工していることが確認できる。 U4 構造物周辺の締固め等の処理を適正に行っていることが確認できる。 【コンクリート工事】 U5 設計図書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験機が行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308 以外の生コンを使用する場合） U6 コンクリート打設時の必要な供試体採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 U7 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、パイプレータによる締固、養生方法等を適切に行っていることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） U8 コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後型枠、支保工の取り外しを行なっていることが確認できる。 U9 鉄筋の規格が証明書類で確認できる。 U10 鉄筋の組立・加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 U11 スペースを適正に配置し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。 【法面工事】 U12 施工面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 U13 ネット・金網等の重ね幅が10cm以上確保されていることが確認できる。 U14 使用する材料の種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 U15 土羽工の土質が適正であることが確認できる。 U16 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 U17 アンカーの施工長さが確認できる。 U18 枠内に空隙がないことが確認できる。 U19 層間にはく離がないことが確認できる。 【二次製品工事】 U20 層間にはく離がないことが確認できる。 U21 二次製品との取り付け部コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。 【路盤・表層・区画線工事】 U22 路盤材料の規格値を満足している。（修正CBR等） U23 路床盛土において一層の仕上り厚20cm以下とし、各層毎に締固めて施工していることが確認できる。 U24 路床・路盤工のブルーフローリングを行っていることが確認している。 U25 路床及び路盤工の密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 U26 混合物の温度管理において、プラント出荷時・現場到着時・締固時等で整理・記録されていることが確認できる。 U27 目地の処理が仕様書に定められたとおりであることが確認できる。 U28 気象条件に適した混合物の運搬処理、舗設作業（締固等）の配慮が行われていることが確認できる。 U29 塗料の空缶管理において、写真等で確実に空であることが確認できる。			【判断基準】 ① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口をチェックした評価項目数を母数とし、右口をチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数 / （レ）対象評価項目数 ④ なお、左口をチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。		ばらつきで判断可能 50%以下 80%以下 80%を超える ばらつきで判断不可能				
評価値（例）：－ 評定：－ ※ 総合評価選考方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。			注）試験結果の打点数等が少なくばらつき判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。						

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	コンクリート 構造物 工事	配点: +15	配点: +12	配点: +7.5	配点: +4	配点: 0	配点: -12.5	配点: -25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞						
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照						
			評価対象項目						
			<input type="checkbox"/> 01. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308 以外の生コンを使用する場合）						
			<input type="checkbox"/> 02. コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 03. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 04. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、パイプレタによる締固、養生方法等を適切に行っていることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）						
			<input type="checkbox"/> 05. コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠、支保工の取り外しを行なっていることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 06. コンクリート打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 07. 鉄筋の規格が証明書類で確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 08. 鉄筋の引っ張り強度・曲げ強度の試験値が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 09. コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正で、鉄筋の組立・加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 10. 圧接作業に当たり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 11. スペーサーの品質及び個数が、設計図書の仕様を満足しており、スペーサーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 12. 有害なクラックが無い。						
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）=（レ）評価数 /（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。						
			評価値（%）：— 評定：—						
			※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。						

[判断基準]

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																
3 出来形及び出来ばえ ！土木工事！	II 品質	土工事・切土工事・盛土工事・築堤工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																																
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																																
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞																																						
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																						
			<p>評価対象項目</p> <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>U1</td><td>雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>U2</td><td>段切り等が施工前に適切に行われていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>U3</td><td>置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>U4</td><td>締固めを適切な条件で施工していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>U5</td><td>一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>U6</td><td>芝付け、又は種子吹付等を設計図書に定められた条件で適切に行っていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>U7</td><td>構造物周辺の締め固め等の処理を適正に行っていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>U8</td><td>土羽工の土質が適正であることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>U9</td><td>C B R 試験等を行っていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>U10</td><td>法面に有害なクラックや損傷がない。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>U11</td><td>伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。</td></tr> </table>						<input type="checkbox"/>	U1	雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	U2	段切り等が施工前に適切に行われていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	U3	置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	U4	締固めを適切な条件で施工していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	U5	一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	U6	芝付け、又は種子吹付等を設計図書に定められた条件で適切に行っていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	U7	構造物周辺の締め固め等の処理を適正に行っていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	U8	土羽工の土質が適正であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	U9	C B R 試験等を行っていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	U10	法面に有害なクラックや損傷がない。	<input type="checkbox"/>	U11	伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	U1	雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。																																							
<input type="checkbox"/>	U2	段切り等が施工前に適切に行われていることが確認できる。																																							
<input type="checkbox"/>	U3	置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。																																							
<input type="checkbox"/>	U4	締固めを適切な条件で施工していることが確認できる。																																							
<input type="checkbox"/>	U5	一層あたりのまき出し厚を管理していることが確認できる。																																							
<input type="checkbox"/>	U6	芝付け、又は種子吹付等を設計図書に定められた条件で適切に行っていることが確認できる。																																							
<input type="checkbox"/>	U7	構造物周辺の締め固め等の処理を適正に行っていることが確認できる。																																							
<input type="checkbox"/>	U8	土羽工の土質が適正であることが確認できる。																																							
<input type="checkbox"/>	U9	C B R 試験等を行っていることが確認できる。																																							
<input type="checkbox"/>	U10	法面に有害なクラックや損傷がない。																																							
<input type="checkbox"/>	U11	伐開除根作業が設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。																																							
			<p>① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。</p> <p>② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。</p> <p>③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数</p> <p>④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																																						
			<p>評価値（％）： - 評定： -</p> <p>※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。</p>																																						
			<p>[判断基準]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c					
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																					
	50%以下	80%以下	80%を超える																																						
90%以上	a	a'	b	b																																					
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																					
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																					
60%未満	b'	c	c	c																																					
			<p>注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p>																																						

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	護岸工事・ 根固工事・ 水制工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																												
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている <input type="checkbox"/> bより優れている。 <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている <input type="checkbox"/> cより優れている。 <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																																
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																		
			評価対象項目 01. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 02. 裏込材、胴込めコンクリートが充てん、又は締め固めが充分で、空隙が生じていないことが確認できる。 03. 緑化ブロック、石積み（張）、法枠、かごマット等で材料のかみ合わせ、又は連結が適切で、裏込材の吸い出しの恐れがないように行っていることが確認できる。 04. 石積（張）工又は埋戻しの材料について、設計図書の仕様を満足していることが満足できる。 05. 護岸工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切であることが確認できる。 06. 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が適切であることが確認できる。 07. 植生工で植生の種類、品質、配合、施工後の養生が適切であることが確認できる。 08. 根固工、水制工、沈床工、捨石工等で、材料の連結、又はかみ合わせが設計書の仕様を満足していることが確認できる。 09. 指定材料の品質が、証明書類で確認できる。 10. 基礎工において、掘り過ぎが無く施工していることが確認できる。 11. コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 12. 施工にあたって、床堀箇所の湧水及び滞水等は、排除して施工していることが確認できる。 13. 有害なクラックが無い。																																		
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																		
			評価値（％）：－ 評定：－ ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。																																		
			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	鋼橋工事—RC床版工事はコンクリート構造物に準ずる—	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞						
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照						
			評価対象項目 【工場製作】						
			<input type="checkbox"/> 01. 鋼材の員数照合が証明書類（現物照合を含む）で確認されている。						
			<input type="checkbox"/> 02. 溶接作業にあたり、作業員の技量確認を行っており、溶接材料の使用区分が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 03. 溶接施工に係る施工計画書を提出していることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 04. 孔空けによって生じたまくれが削り取られているなど、きめ細かに製作しており、欠陥部の発生が見られないことが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 05. 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 06. 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 07. 塗料の空缶管理において、写真等で確実に空であることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 08. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。						
			【架設】						
			<input type="checkbox"/> 09. ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施しており、締付確認が実施され、適切に記録が保管されていることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 10. 高力ボルトの品質が、証明書類で確認でき、高力ボルトの締め付けを、中心から外側に向かって行っていることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 11. 架設に用いる仮設備及び架設用機材について品質、性能が確保できる規模及び強度を有しており、架設にあたって、部材の応力と変形等を十分検討していることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 12. 現場塗装部のケレン及び膜厚管理を適切に行なっていることが確認できる。						
			<input type="checkbox"/> 13. 現場塗装において、温度、湿度、風速等の確認を行なっていることが確認できる。						
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。						
			評価値（%）：— 評定：—						
			※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。						

【判断基準】

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3	II	河川改良	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																												
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている <input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている <input type="checkbox"/> cより優れている <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																																
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																		
			評価対象項目 【土工事】 <input type="checkbox"/> 01. 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 段切り等が施工前に適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 構造物周辺の締固め等の処理を適正に行っていることが確認できる。 【コンクリート工事】 <input type="checkbox"/> 05. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練が行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308 以外の生コンを使用する場合） <input type="checkbox"/> 06. コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、パイプレックによる締固、養生方法等を適切に行っていることが確認できる。（寒中及び曇中コンクリート等を含む） 【護岸工事】 <input type="checkbox"/> 08. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. ブロック、石積み、鋼製法枠、かご等で材料のかみ合わせ、又は連結が適切で裏込材の吸出しの恐れがないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 護岸工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 根固工、水制工、沈床工、捨石工等で材料の連結、又はかみ合わせが適切であることが確認できる。 【法面工事】 <input type="checkbox"/> 13. ネット等の重ね幅が10cm以上確保されている。 <input type="checkbox"/> 14. 使用する材料の品質規定証明書が整備されており、種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 土羽工の土質が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. 吹付け厚さが均等であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. アンカーを設計図書どおりの長さで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. 枠内に空隙がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 層間にはく離がないことが確認できる。 【二次製品工事】 <input type="checkbox"/> 20. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. 二次製品との取り付け部コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。																																		
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																		
			評価値（％）： - 評定： - ※ 総合評価簿方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。																																		
			【判断基準】 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	地滑り工事(承水路工事・排水路工事)	配点: +15	配点: +12	配点: +7.5	配点: +4	配点: 0	配点: -12.5	配点: -25																											
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている <input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている <input type="checkbox"/> cより優れている <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																															
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																	
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 材料の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 地形形状を考慮した施工がなされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 05. 施設の出来あがりに凹凸がなく、丁寧に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. 埋め戻しが十分締固められており、現況地形との取り付けがなじみよく施工がなされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 継目が仕様書等で示す条件により施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 08. 既設道路及び水路施設等との取り付けが、なじみよく施工がなされていることが確認できる。																																	
			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																	
			評価値(%) : — 評定 : —																																	
			※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。																																	
			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。																																	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	地滑り工事 (集水井工)	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																												
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																												
品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																					
評価対象項目 <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02. 材料の品質が証明書類で確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03. ライナープレートを確実に固定できるように掘削が入念に行われ、ライナープレート端に触れてなく、鉛直方向に正確に施工されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04. ライナープレートが仕様書に示す深さごとに1枚ずつ実施されており、接続（ボルトと締付）が仕様書に示すとおり実施されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05. 水抜きホーリング、排水ホーリングか図面及び仕様書により正確に施工されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>06. ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>07. 梯子、あるいは階段が丁寧に取り付けられている。</td></tr> </table>										<input type="checkbox"/>	01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02. 材料の品質が証明書類で確認できる。	<input type="checkbox"/>	03. ライナープレートを確実に固定できるように掘削が入念に行われ、ライナープレート端に触れてなく、鉛直方向に正確に施工されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	04. ライナープレートが仕様書に示す深さごとに1枚ずつ実施されており、接続（ボルトと締付）が仕様書に示すとおり実施されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	05. 水抜きホーリング、排水ホーリングか図面及び仕様書により正確に施工されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	06. ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	07. 梯子、あるいは階段が丁寧に取り付けられている。														
<input type="checkbox"/>	01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	02. 材料の品質が証明書類で確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	03. ライナープレートを確実に固定できるように掘削が入念に行われ、ライナープレート端に触れてなく、鉛直方向に正確に施工されていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	04. ライナープレートが仕様書に示す深さごとに1枚ずつ実施されており、接続（ボルトと締付）が仕様書に示すとおり実施されていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	05. 水抜きホーリング、排水ホーリングか図面及び仕様書により正確に施工されていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	06. ライナープレートと地山との隙間が少なくなるように施工していることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	07. 梯子、あるいは階段が丁寧に取り付けられている。																																				
[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>										評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																					
評価値（%）： - 評定： - ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。																																					
注 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																					

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e									
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	地滑り工事（水抜きボーリング工）	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25									
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。									
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞															
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照															
			評価対象項目 <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02. 材料の品質が証明書類で確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03. 孔口間隔が正確であり、孔口の接続が丁寧に仕上げていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04. 集・排水ボーリング工の方向、角度及び長さが適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05. 各ボーリング孔ごとに、地山の地形縦断面図に掘進方法、地下構造、涌水量、ポンプ水の漏水量等の記入報告がされていることが確認できる。</td></tr> </table>						<input type="checkbox"/>	01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02. 材料の品質が証明書類で確認できる。	<input type="checkbox"/>	03. 孔口間隔が正確であり、孔口の接続が丁寧に仕上げていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	04. 集・排水ボーリング工の方向、角度及び長さが適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	05. 各ボーリング孔ごとに、地山の地形縦断面図に掘進方法、地下構造、涌水量、ポンプ水の漏水量等の記入報告がされていることが確認できる。
<input type="checkbox"/>	01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																	
<input type="checkbox"/>	02. 材料の品質が証明書類で確認できる。																	
<input type="checkbox"/>	03. 孔口間隔が正確であり、孔口の接続が丁寧に仕上げていることが確認できる。																	
<input type="checkbox"/>	04. 集・排水ボーリング工の方向、角度及び長さが適正となるように施工上の配慮をしていることが確認できる。																	
<input type="checkbox"/>	05. 各ボーリング孔ごとに、地山の地形縦断面図に掘進方法、地下構造、涌水量、ポンプ水の漏水量等の記入報告がされていることが確認できる。																	
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数 / （レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。															
			評価値（％）：— 評定：— ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。															

【判断基準】

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	地滑り工事(治山溪間工・堰堤工・床止工)	配点: +15	配点: +12	配点: +7.5	配点: +4	配点: 0	配点: -12.5	配点: -25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている <input type="checkbox"/> bより優れている。 <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている <input type="checkbox"/> cより優れている。 <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。				
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照						
			評価対象項目 01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足しており、材料の品質が証明書類で確認できる。 02. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる。(JISA-5308 以外の生コンを使用する場合) 03. コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 04. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 05. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、パイプレタによる締面、養生方法等を適切に行っていることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) 06. コンクリートの圧縮強度を管理し、必要な強度に達した後に型枠、支保工の取り外しを行なっていることが確認できる。 07. コンクリート打設前に、打継ぎ目処理を適切に行っていることが確認できる。 08. 基礎地盤が確認され、丁寧に基盤面が仕上げられていることが確認できる。 09. 掘削法面勾配など地山との取り合わせを適切に行っていることが確認できる。 10. コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 11. コンクリート面や打継ぎ目処理が丁寧に仕上げられていることが確認できる。 12. 排水パイプ、あるいは吸出し防止材が丁寧に施工されていることが確認できる。 13. 鉄線籠工等の詰め石が間隙の無いように実施されていることが確認できる。 14. アンカーの施工が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 15. ボルトの締付機及び測定機器のキャリブレーションを実施しており、締付確認が実施され、記録を保管していることが確認できる。 16. 有害なクラックが無い。						
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。						
			評価値(%) : — 評定 : — ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。						

[判断基準]

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	地滑り工事(抑止杭工)	配点: +15	配点: +12	配点: +7.5	配点: +4	配点: 0	配点: -12.5	配点: -25																											
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																											
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																	
			評価対象項目 <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02. 材料の品質が証明書類で確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03. 抑止杭に損傷及び補修痕がないことを確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04. 抑止杭の打ち止めの管理方法、又は場所打ち杭の施工管理方法が整備され、かつ、記録が確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05. 抑止杭の偏心管理が確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>06. 水平度、鉛直度等が管理基準値以内で施工されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>07. 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>08. 杭の継手溶接、あるいは接続が丁寧に施工されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>09. グラウト及び中詰コンクリートが、丁寧に施工されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10. グラウトの泥水処理において、的確に施工されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>11. 杭上の埋戻しが丁寧に施工されていることが確認できる。</td></tr> </table>						<input type="checkbox"/>	01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02. 材料の品質が証明書類で確認できる。	<input type="checkbox"/>	03. 抑止杭に損傷及び補修痕がないことを確認できる。	<input type="checkbox"/>	04. 抑止杭の打ち止めの管理方法、又は場所打ち杭の施工管理方法が整備され、かつ、記録が確認できる。	<input type="checkbox"/>	05. 抑止杭の偏心管理が確認できる。	<input type="checkbox"/>	06. 水平度、鉛直度等が管理基準値以内で施工されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	07. 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	08. 杭の継手溶接、あるいは接続が丁寧に施工されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	09. グラウト及び中詰コンクリートが、丁寧に施工されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	10. グラウトの泥水処理において、的確に施工されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	11. 杭上の埋戻しが丁寧に施工されていることが確認できる。						
<input type="checkbox"/>	01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	02. 材料の品質が証明書類で確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	03. 抑止杭に損傷及び補修痕がないことを確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	04. 抑止杭の打ち止めの管理方法、又は場所打ち杭の施工管理方法が整備され、かつ、記録が確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	05. 抑止杭の偏心管理が確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	06. 水平度、鉛直度等が管理基準値以内で施工されていることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	07. 溶接の品質管理に関して、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	08. 杭の継手溶接、あるいは接続が丁寧に施工されていることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	09. グラウト及び中詰コンクリートが、丁寧に施工されていることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	10. グラウトの泥水処理において、的確に施工されていることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	11. 杭上の埋戻しが丁寧に施工されていることが確認できる。																																			
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																	
			評価値(%) : - 評定 : - ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。																																	
			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3 出来形及び出来ばえ ー土木工事ー	II 品質	地滑り工事 (アンカー工)	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																											
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																											
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞																																	
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																	
			評価対象項目 <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02. 材料の品質が証明書類で確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03. 法面整形が丁寧に施工されている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04. ラス張と地山の間隙がなく、丁寧に施工されている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05. 法枠が地山形状になじんだ施工となっている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>06. アンカー工の施工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>07. 孔内のスライムが十分除去されている。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>08. グラウトが十分に施工されていることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>09. グラウトの泥水処理において、的確に施工されていることが確認できる。</td></tr> </table>						<input type="checkbox"/>	01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02. 材料の品質が証明書類で確認できる。	<input type="checkbox"/>	03. 法面整形が丁寧に施工されている。	<input type="checkbox"/>	04. ラス張と地山の間隙がなく、丁寧に施工されている。	<input type="checkbox"/>	05. 法枠が地山形状になじんだ施工となっている。	<input type="checkbox"/>	06. アンカー工の施工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	07. 孔内のスライムが十分除去されている。	<input type="checkbox"/>	08. グラウトが十分に施工されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	09. グラウトの泥水処理において、的確に施工されていることが確認できる。										
<input type="checkbox"/>	01. 使用する材料の種類、品質及び配合が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	02. 材料の品質が証明書類で確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	03. 法面整形が丁寧に施工されている。																																			
<input type="checkbox"/>	04. ラス張と地山の間隙がなく、丁寧に施工されている。																																			
<input type="checkbox"/>	05. 法枠が地山形状になじんだ施工となっている。																																			
<input type="checkbox"/>	06. アンカー工の施工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	07. 孔内のスライムが十分除去されている。																																			
<input type="checkbox"/>	08. グラウトが十分に施工されていることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	09. グラウトの泥水処理において、的確に施工されていることが確認できる。																																			
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																	
			評価値（％）：－ 評定：－ ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。																																	
			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																																	
			配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																																	
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	舗装工事	<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている		<input type="checkbox"/> bより優れている。		<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている		<input type="checkbox"/> cより優れている。		<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																											
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																							
			評価対象項目 【路床・路盤工】 01. 施工に先立ち、CBR 値を測定し、適正な舗装設計の基礎資料収集を行っていることが確認できる。 02. 路床及び路盤工のプルフローリングを行っており、路床及び路盤工の密度管理が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 03. 路盤の安定処理は材料が均一になるよう施工していることが確認できる。 04. 路盤の施工に先立ち、路床面、下層路盤面の浮き石及び有害物を除去してから施工していることが確認できる。 05. 路床盛土において、一層の仕上がり厚を20cm以下とし、各層ごとに締固めて施工しており、構造物の隣接箇所や狭い箇所における締固めが、タンバ等の小型締固め機械により施工していることが確認できる。 【アスファルト舗装】 06. 設計図書に基づく混合物の配合設計及び試験練りが行われており、適切な混合物の規格が確認できる。（アスファルト混合物の事前審査制度の適用工事は除く） 07. 舗装工の施工にあたって、上層路盤面の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 08. 混合物の温度管理において、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されていることが確認できる。 09. 舗設後、直ちに供用する必要がある現場においては、交通解放が定められた条件を満足していることが確認できる。 10. 舗装の各層の縦目位置を仕様書に定められた数値以上にずらしており、縦目及び横目位置、構造物との接合面の処理において、仕様書に定められたとおりであることが確認できる。 11. 気象条件に適した混合物の運搬方法、舗設作業（締め固め等）の配慮が行われており、密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 【コンクリート舗装】 12. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308 以外の生コンを使用する場合） 13. 舗装工の施工に先だて、上層路盤の浮き石などの有害物を除去していることが確認できる。 14. コンクリート打設時の必要な供試体採取し、強度・スランプ・空気量等を測定しており、供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 15. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法等を適切に行っていることが確認できる。（家中及び暑中コンクリートを含む） 16. 材料が分離しないようコンクリートを敷均していることが確認できる。 17. チェアー、タイバー等の保管管理が適正であることが確認できる。																																							
			① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数 / （レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																							
			評価値（％）： - 評定： - ※ 総合評価簿方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。																																							
			【判断基準】																																							
			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>											ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																						
	50%以下	80%以下	80%を超える																																							
90%以上	a	a'	b	b																																						
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																						
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																						
60%未満	b'	c	c	c																																						
			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																							

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a 配点：+15	a' 配点：+12	b 配点：+7.5	b' 配点：+4	c 配点：0	d 配点：-12.5	e 配点：-25																															
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	海洋工事	<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																															
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照 評価対象項目 【床掘（浚渫）工事】 <input type="checkbox"/> 01. 床掘（浚渫）にあたり、濁り防止等環境保全に十分注意して施工し、既設構造物に影響のないよう十分検討して施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 床掘（浚渫）土砂処分における運搬途中で漏出がないように施工し、施工上の注意事項（仕様書等による）が守られていることが確認できる。 【帆布・マット工事】 <input type="checkbox"/> 03. 帆布・マットが損傷なく施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 帆布・マットの品質証明が書類により確認できる。 【捨石工事】 <input type="checkbox"/> 05. 捨石、被覆石など材料の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）により確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. 捨石、被覆及び根固め石がゆるみのないように堅固に施工され、記録により確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 捨石基礎において、均し面が平坦に仕上げられていることが記録により確認できる。 【ブロック工事】 <input type="checkbox"/> 08. 異型ブロック等の型枠、支保工の取り外しに関して、コンクリートの圧縮強度を管理し必要な強度達した後に行なっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. 異型ブロック等の製作にあたり気象条件に適した運搬、打設、締め固めを行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 異型ブロック等のコンクリートの供試体が、該当現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 設計書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度、W/C、最大骨材粒径、塩基総量等）が確認できる。（JIS A-5308 以外の生コンを使用する場合） <input type="checkbox"/> 12. コンクリートブロック据付に先立ち、気象・海象等を十分に調査し、据付作業が所定の精度で行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 異型ブロック等のコンクリートブロックの転置、仮置に際し、強度確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 異型ブロック等のコンクリートブロックの仮置作業において、転倒、崩壊等の恐れがないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. ブロック据付等において、ブロック及び既設構造物に損傷がなく、適切に施工されていることが確認できる。 【その他工事】 <input type="checkbox"/> 16. 完成施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 工事期間中、1日1回は潮位観測を実施して記録していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. 台風などの異常気象に備えて施工前に避難場所の確保及び退避設備の対策を講じていることが確認できる。																																					
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。							【判断基準】 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																				
	50%以下	80%以下	80%を超える																																					
90%以上	a	a'	b	b																																				
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																				
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																				
60%未満	b'	c	c	c																																				
評価値（%）：— 評定：— ※ 総合評価表方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																					

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a 配点：+15	a' 配点：+12	b 配点：+7.5	b' 配点：+4	c 配点：0	d 配点：-12.5	e 配点：-25																												
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	法面工事	<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている <input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている <input type="checkbox"/> cより優れている <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																											
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																		
評価対象項目			<input type="checkbox"/> 01. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 施上に際して、品質に害となる施上面の浮き石やゴミ等を除去してから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 盛土の施工にあたり、法面の崩壊が起こらないよう締固めを十分行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 雨水による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。 【種子吹付工、客土吹付工、厚層基材吹付工】 <input type="checkbox"/> 05. 土壌試験を実施し、施工に反映していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. ネット・金網等の重ね幅が10cm以上確保されており、ネットなどの境界に隙間が生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 吹付け厚さが均等であり、必要な場合2層以上に分けて行っているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> 08. 使用する材料の品質規定証明書が整備されており、種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. 施工時期が定められた条件を満足していることが確認できる。 【コンクリート又はモルタル吹付工】 <input type="checkbox"/> 10. 金網等の重ね幅が10cm以上確保されており、破損を生じていないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 吸水性の吹付け面において、事前に吸水させてから施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 吹付け厚さが均等であり、必要な場合2層以上に分けて行っているのが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 使用する材料の品質規定証明書が整備されており、種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 跳ね返り材料が適切に処理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 法面の吹付けにあたり、地山に沿って巻き込んで施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. アンカーの施工長さが設計図書どおりの長さで施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 現場養生が適切に行われていることが確認できる。 【現場打法栓工】 <input type="checkbox"/> 18. 枠内に空隙がなく、層間にはく離がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. 跳ね返り材料が適切に処理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. 使用する材料の品質規定証明書が整備されており、種類、品質、配合等が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. アンカーの長さ、グラウト、引張強度が設計条件を満足していることが確認できる。 【落石防護工】 <input type="checkbox"/> 22. ワイヤロープの交差部・連結部の固定が確実で、ゆるみなく施工されていることが確認できる。																																		
① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			[判断基準]																																		
評価値(%)：— 評定：— ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考查項目	細別	工程	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3	II	品質	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																												
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている <input type="checkbox"/> bより優れている。 <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている <input type="checkbox"/> cより優れている。 <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																																
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																		
			評価対象項目 01. 杭及び杭頭処理において、損傷及び補修痕がないことが確認できる。 02. 既製杭の打止め管理方法、又は場所打ち杭の施工管理方法（水平度、安全度、鉛直度等）が整備され、かつ記録が確認できる。 03. 溶接の品質管理に関して、仕様書に定められた事項が確認できる。 04. 支持地盤に達していることが、掘削深さ、掘削土砂等により確認できる。 05. 場所打ち杭について、トレー管をコンクリート内に2m以上入れて施工していることが確認できる。 06. 掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動及び安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度、比重が適切に管理されていることが確認できる。 07. 配筋、スペーサーの配置及びコンクリート打設等が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 08. ライナープレートの組み立てにあたって、偏心と歪みが少なくなるよう配慮されていることが確認できる。 09. 裏込材注入の圧力等が施工記録により確認できる。 10. 強度確認、セメントミルクの比重管理などの品質に係わる事項の管理資料を整理していることが確認できる。 11. 事前に土質試験を実施し、改良材の選定、必要添加量の設定等を行っており、改良材のバッチ管理記録が整理され、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 12. 施工箇所が均一に改良されているとともに、十分な強度及び支持力を確保していることが確認できる。																																		
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																		
			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">きで判断</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			きで判断	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			きで判断																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
			評価値（%）：－ 評定：－ ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。																																		
			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a 配点：+15	a' 配点：+12	b 配点：+7.5	b' 配点：+4	c 配点：0	d 配点：-12.5	e 配点：-25																												
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	コンクリート橋工事（PCC）及びRCを対象	<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																												
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつき判断は別紙-4参照																																		
評価対象項目			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつき判断は別紙-4参照																																		
01. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる（JISA-5308以外の生コンを使用する場合）																																					
02. コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度、スランプ・空気量等を測定しており、当該現場の供試体であることが確認できる。																																					
03. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固時のバイブレータの機種、養生方法等が定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む）																																					
04. 型枠、支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されていることが確認できる。																																					
05. 鉄筋の規格が証明書類で確認できる。																																					
06. 鉄筋の引張り強度・曲げ強度の試験値が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																					
07. コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。																																					
08. 圧接作業にあたり、作業員の技量確認を行っていることが確認できる。																																					
09. 鉄筋の組立・加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																					
10. コンクリートの養生が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																					
11. スパースーの品質及び個数が設計図書で定められた条件を満足しており、スパースーを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。																																					
12. プレベーム桁プレフレクション管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																					
13. 装置（機器）のキャリブレーションが実施されていることが確認できる。																																					
14. PCC鋼材の緊張及びグラウト管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																					
15. 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて圧縮強度の確認を行っていることが確認できる。																																					
16. プレストレッシング時のコンクリート強度が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。																																					
17. 有害なクラックが無い。																																					
① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			【判断基準】 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
評価値（%）：— 評定：— ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつき判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	s	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																													
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																													
品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																						
評価対象項目 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20px; text-align:center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="width:20px; text-align:center;"><input type="checkbox"/></td> <td>01. 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。（重ね塗りの場合も含む）</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align:center;"><input type="checkbox"/></td> <td>02. ケレンが入念に実施されていることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align:center;"><input type="checkbox"/></td> <td>03. 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理・記録されていることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align:center;"><input type="checkbox"/></td> <td>04. 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料沈殿がしていないことが確認できる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align:center;"><input type="checkbox"/></td> <td>05. 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っており、塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align:center;"><input type="checkbox"/></td> <td>06. 塗料の空缶管理が写真等で確実に確認できる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align:center;"><input type="checkbox"/></td> <td>07. 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td style="text-align:center;"><input type="checkbox"/></td> <td style="text-align:center;"><input type="checkbox"/></td> <td>08. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。</td> </tr> </table>										<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	01. 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。（重ね塗りの場合も含む）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	02. ケレンが入念に実施されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	03. 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理・記録されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	04. 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料沈殿がしていないことが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	05. 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っており、塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	06. 塗料の空缶管理が写真等で確実に確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	07. 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	08. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。					
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	01. 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。（重ね塗りの場合も含む）																																				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	02. ケレンが入念に実施されていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	03. 施工時の天候、気温及び湿度等の条件が整理・記録されていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	04. 塗料を使用前に攪拌し、容器底部に顔料沈殿がしていないことが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	05. 鋼材表面及び被塗装面の汚れ、油類等を除去し塗装を行っており、塗り残し、ながれ、しわ等が無く塗装されていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	06. 塗料の空缶管理が写真等で確実に確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	07. 溶接部、ボルトの接合部分、構造の複雑な部分について、必要な塗膜厚を確保していることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	08. 塗料の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。																																				
[判断基準] <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align:center;"> <tr> <td rowspan="2"></td> <td colspan="3">ばらつきで判断可能</td> <td rowspan="2">ばらつきで判断不可能</td> </tr> <tr> <td>50%以下</td> <td>80%以下</td> <td>80%を超える</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">評価値</td> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </table>											ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	評価値	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
	50%以下	80%以下	80%を超える																																			
評価値	90%以上	a	a'	b	b																																	
	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
	60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
	60%未満	b'	c	c	c																																	
① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																						
評価値（%）：－ 評定：－ ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。																																						
注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																						

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ ー 土木工事	II 品質	トンネル工事 (ナーム工法)	配点: +15	配点: +12	配点: +7.5	配点: +4	配点: 0	配点: -12.5	配点: -25																												
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている <input type="checkbox"/> bより優れている。 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照	<input type="checkbox"/> bより優れている。 <input type="checkbox"/> cより優れている。 <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。 <input type="checkbox"/> cより優れている。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																																
評価対象項目			① 設計図書に基づくコンクリートの配合試験及び試験練りが行われており、適切なコンクリートの規格(強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等)が確認できる(JISA-5308以外の生コンを使用する場合) ② コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度スランプ・空気量等を測定しており、当該現場の供試体であることが確認できる。 ③ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ等を適切に行っていることが確認できる。(寒中及び暑中コンクリート等を含む) ④ 吹付コンクリートの配合及びロックボルトの種別、規格が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑤ 設計図書に定められた岩区分(支保工パターン含む)の境界を確認して施工を行っていることが確認できる。 ⑥ 坑内観察調査などについて、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑦ 日々計測管理を行っており、それに基づいた施工が行われていることが確認できる。 ⑧ 金網の継ぎ目を15cm(1目)以上重ね合わせていることが確認できる。 ⑨ 吹付コンクリートの施工にあたって、浮石等を除いた後に、吹付コンクリートの一層の厚さが15cm以下で地山と密着するよう施工していることが確認できる。 ⑩ 吹き付けコンクリートの打ち継ぎ部の施工において、清掃及び湿润状態が確認できる。 ⑪ ロックボルトの定着長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 ⑫ 防水工に防水シートを使用する場合は、ロックボルト等の突起物にモルタルや保護マット等で防護対策を行っていることが確認できる。 ⑬ 逆巻きの場合、側壁コンクリートとアーチコンクリートの打継目が同一線上にないことが確認できる。																																		
① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
評価値(%): - 評定: - ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。																																		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	植栽工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																											
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																											
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞																																	
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																	
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 活着管理が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 樹木等に損傷、はちくずれ等がなく、保護養生が適切になされ、樹木等の生育に害のあるものは除去され、余剰枝の剪定、整形その他必要な手入れが行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 肥料が直接樹木の根に触れないように均一に施肥されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 植生する樹木に応じて、余裕のある植穴を掘り植穴底部を耕していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 05. 添木をぐらつきがないよう設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. 土壌試験を実施し、施工に反映していることが確認できる。																																	
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																	
			評価値（％）：－ 評定：－ ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。																																	
			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3	II	品質	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																												
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている <input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている <input type="checkbox"/> cより優れている <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																																
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																		
			評価対象項目 【防護柵（柵）、標識工事】 <input type="checkbox"/> 01. 防護柵設置要綱、視線誘導標設置基準、道路標識ハンドブック等の規定に従い、適切に施工し、規格値を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 防護柵等の床掘りの仕上がり面において、地山の乱れや不陸が生じないように施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 防護柵等の基礎工の施工にあたって、無筋及び鉄筋コンクリートの規定を満足しており、基礎設置箇所について地盤の地耐力を把握して、施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 防護柵等の支柱の施工にあたって、既設舗装面等へ影響が無いよう施工しており、根入長が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 05. ガードケーブルを支柱に取付ける場合、設計図書に定められた所定の張力を与えており、ガードケーブルの端末支柱を土中に設置する場合、打設したコンクリートが設計図書に定められた強度以上であることが確認できる。 【区画線等設置工事】 <input type="checkbox"/> 06. ペイント式（常温式）区画線に使用するシンナーの使用量が10%以下であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. プライマーの施工にあたって、路面に均一に塗布していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 08. 区画線の厚さが見本等で設計図書の仕様を満足し、施工後の昼間及び夜間の視認性が、設計図書の仕様を満足しており、区画線を消去の場合、表示材（塗料）のみの除去となっており、路面への影響が最小限となっていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. 区画線の材料が、設計図書の仕様を満足しており、施工にあたって、設置路面の水分、泥、砂じん及びほこりを取り除いて行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 塗料の空缶管理において、写真等で確実に空であることが確認できる。																																		
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																		
			評価値（%）：－ 評定：－ ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。																																		
			【判断基準】 <table border="1" style="float: right;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	雪害PC構造物工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている <input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている <input type="checkbox"/> cより優れている <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。				
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照						
			評価対象項目 【コンクリート】 <input type="checkbox"/> 01. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練が行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308以外の生コンを使用する場合） <input type="checkbox"/> 02. コンクリート打設時の必要な供試体採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. コンクリート供試体が当該現場の供試体であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締固め時のバイブレータの機種、養生方法等が定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> 05. 型枠・支保工の取り外し時のコンクリート強度が適正に管理されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. プレストレッシング時のコンクリート強度が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 鉄筋の規格が証拠書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 08. 鉄筋の引張り強度・曲げ強度の試験値が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. 鉄筋の組立・加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. コンクリート打設までの鉄筋の保管管理が適正であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. スペースの品質及び個数が設計図書で定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. スペースを適切に配置し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。 【架設】 <input type="checkbox"/> 13. 装置（機器）のキャリブレーションが実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. PC鋼棒の緊張及びグラウト管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 構造物と同様な養生条件におかれた供試体を用いて圧縮強度の確認を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. 有害なクラックが無い。						
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）=（レ）評価数 /（リ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。						
			評価値（%）：— 評定：— ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。						

[判断基準]

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	雪寒鋼製構造物工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																												
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている <input type="checkbox"/> bより優れている 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている <input type="checkbox"/> cより優れている <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																															
評価対象項目 【工場製作】			<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>01. 鋼材の員数照合が証明書類（現物照合を含む）で確認されている。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>02. 溶接作業にあたり、作業員の技量確認をおこなっていることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>03. 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>04. 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>05. 塗装の空缶管理において、写真等で確実に空であることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>06. 塗装の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。</td> </tr> </table>							<input type="checkbox"/>	01. 鋼材の員数照合が証明書類（現物照合を含む）で確認されている。	<input type="checkbox"/>	02. 溶接作業にあたり、作業員の技量確認をおこなっていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	03. 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	04. 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	05. 塗装の空缶管理において、写真等で確実に空であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	06. 塗装の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。																
<input type="checkbox"/>	01. 鋼材の員数照合が証明書類（現物照合を含む）で確認されている。																																				
<input type="checkbox"/>	02. 溶接作業にあたり、作業員の技量確認をおこなっていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	03. 塗装する面が乾燥状態であることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	04. 素地調整の場合、第1種ケレン後4時間以内に金属前処理塗装を実施していることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	05. 塗装の空缶管理において、写真等で確実に空であることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	06. 塗装の品質が出荷証明書、塗料成績表により、製造年月日、ロット番号、色彩、数量が確認できる。																																				
【架設】			<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>07. ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されていることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>08. ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>09. 現場塗装部のケレン及び塗膜管理を適正に行っていることが確認できる。</td> </tr> </table>							<input type="checkbox"/>	07. ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されていることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	08. ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	09. 現場塗装部のケレン及び塗膜管理を適正に行っていることが確認できる。																						
<input type="checkbox"/>	07. ボルトの締付確認が実施され、適切に記録が保管されていることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	08. ボルトの締付機、測定機器のキャリブレーションを実施していることが確認できる。																																				
<input type="checkbox"/>	09. 現場塗装部のケレン及び塗膜管理を適正に行っていることが確認できる。																																				
① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数 / （レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>							評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
評価値（%）：－ 評定：－			※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。																																		
注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																					

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a 配点：+15	a' 配点：+12	b 配点：+7.5	b' 配点：+4	c 配点：0	d 配点：-12.5	e 配点：-25																												
3 出来形及び出来ばえ — 土工事業 —	II 品質	管渠消雪配管工事	<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている <input type="checkbox"/> bより優れている。 <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている <input type="checkbox"/> cより優れている。 <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																												
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土工事業施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																		
評価対象項目 【土工事業】 <input type="checkbox"/> 01. 掘削にあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。 【現場打コンクリート工事】 <input type="checkbox"/> 02. 施工基面が平滑に施工されていることを写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練が行われており、適切なコンクリートの規格（強度・w/c・最大骨材粒径・塩基総量等）が確認できる。（JISA-5308以外の生コンを使用する場合） <input type="checkbox"/> 04. コンクリート打設時の必要な供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。 <input type="checkbox"/> 05. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、締め時のバイブレータの機種、養生方法等が定められた条件を満足していることが確認できる。（寒中及び暑中コンクリート等を含む） <input type="checkbox"/> 06. 配管及びノズルが適正な位置に配置されていることを写真等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 鉄筋の規格が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 08. 鉄筋の組立・加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. スペースを適正に配置し、鉄筋のかぶりを確保していることが確認できる。 【プレキャスト管工事】 <input type="checkbox"/> 10. プレキャストと取り付け部コンクリート構造物が適正に施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. プレキャストの規格が設計図書に定められた規格と同等以上であり、プレキャスト同士のつなぎが適正に行われていることが確認できる。 【アスファルト工事】 <input type="checkbox"/> 12. 混合物の温度管理において、プラント出荷時・現場到着時・舗設時等で整理・記録されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 気象条件に適した混合物の運搬処理、舗設作業（締固等）の配慮が行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 密度管理が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。					[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>			ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
評価値（％）： - 評定： - ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	雪寒さく井工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																													
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																													
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞																																			
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																			
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 使用材料について仕様書と同等以上の規格であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 掘削完了後、電気検層を行いストレーナー設置位置について監督員と十分に協議していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 掘削孔とケーシングパイプとの隙間を丁寧に単粒度砂利で充填し、その状況を確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 砂利充填の上部は遮水粘土を充填し、その状況を確認できる。 <input type="checkbox"/> 05. 井戸内の排砂、排泥のための孔内洗浄を確実にしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. 仕様書に定める試験を確実にし、その結果についてよく整理されていることが確認できる。																																			
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																			
			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
	50%以下	80%以下	80%を超える																																			
90%以上	a	a'	b	b																																		
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
60%未満	b'	c	c	c																																		
			評価値（％）：－ 評定：－ ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。																																			
			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																			

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a 配点：+15	a' 配点：+12	b 配点：+7.5	b' 配点：+4	c 配点：0	d 配点：-12.5	e 配点：-25																							
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	上水道工事	<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている <input type="checkbox"/> bより優れている。 <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている <input type="checkbox"/> より優れている。 <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。					<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。 <input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																								
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																													
評価対象項目 01. 仕様書で定められている品質が、品質管理図表（合格判定表）で確認できる。 02. 現場での実測値が品質管理基準値を満足している。 03. 水道工事に使用する資材の品質規格証明書、試験成績書等が整理されている。 04. 給水管継手部の仕上げが良い。 05. 給水管継手部（T5接合時の面取り、ステンレス管の切断）の仕上げが良い。 06. サドル分水栓は水平に取付けされている。 07. 鋼鉄管継手部の仕上げが適切でチェックシートにより確認できる。 08. 施工前の地下埋設物、障害物の調査がされており、仕切弁・消火栓・止水栓の設置位置が適切で、施設の維持管理に配慮した現場調整がおこなわれている。 09. 管理図の記載内容が正確であることが確認できる。 10. 鋼管溶接部は外観検査、放射線透過試験で判定基準値を満足し、試験成績書により確認できる。 11. 全ての管路で水圧試験（1MPa×10min）により変動がないことが確認できる。 12. 配水管路は給水開始前検査により水質は基準値を満足し、水圧試験に合格している。 13. 埋戻し材料の品質及び締固めが適正に施工されており、工事終了後のくぼみ・沈下がみられない。 14. セメントコンクリート舗装において、県土木部品質管理基準値を満足している。 15. 路盤において、県土木部品質管理基準値を満足している。 16. アスファルト舗装において、県土木部品質管理基準値を満足している。 17. アスファルト切取り供試体は必要数採取され、路面修復されている。 18. 掘削による周辺地盤への影響が見られない。 19. 土留内部の仕切弁・消火栓が垂直・適切な深さに据付され、埋戻し土が適切に入っており、スピンドルが操作可能な深さに設置されている。 20. ロケーティングワイヤーは土留壁に固定され、管路に適切に敷設されている。 21. 量水器ボックス内に土砂、材料の断片等が見当たらず清掃されており、内・表面はきれいに仕上がっており、必要事項が記載されている。 22. 量水器、止水栓が適切な位置・深さに取付けされており、計量法に基づく交換が容易にできる。 23. 量水器位置を明示する標示ピンは道路側溝宅地側に取り付けられている。 24. 閉栓の場合、止水栓の副弁が閉となり、流末箇所水道用プラグが取り付けられている。 25. 水道メーターの逆付け・傾きがなく水平に取付けてあり、止水栓（伸縮）が正常に動作する。 26. 給水管・配水管の埋設表示シートは適切な深さに敷設されている。 27. 鋼鉄管・鋼管・塩ビ管継部に防食用ポリエチレンスリーブが適切に被覆されており、キズ等の破損がなく、年号は適切である。 28. 配水管・給水管布設工、推進工において出来形管理基準を満足しており、目立った蛇行、変位や沈下がない。 29. 配水管・給水管切管、組合せにおいて経済的割割を検討の上、配管されていることが完成図・精算書で確認できる。																																
① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。 ② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>		評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																												
	50%以下	80%以下	80%を超える																													
90%以上	a	a'	b	b																												
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																												
60%以上75%未満	b	b'	c	c																												
60%未満	b'	c	c	c																												
評価値（％）：— 評定：—			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）がA判断です																													

※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。

評価項目 (ITEM) / 評価項目名

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a 配点：+15	a' 配点：+12	b 配点：+7.5	b' 配点：+4	c 配点：0	d 配点：-12.5	e 配点：-25																																		
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	下水道工事 — 開削・推進・シールド工事 —	<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている		<input type="checkbox"/> bより優れている。		<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている		<input type="checkbox"/> cより優れている。		<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。		<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																												
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																								
評価対象項目 【共通】			01. 下水道工事において、仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 02. 材料の規格・品質が試験成績表等（現物照合を含む）により確認できる。 03. 管渠（管布設・推進・シールド）工において、目立った屈曲や沈下がないことが確認できる。 04. 管渠に影響を与えるクラックや変形がないことが確認できる。 05. 管渠に漏水管箇所がないことが確認できる。 06. 管渠継手部及びマンホール連結部の目地仕上げが良好に施工されていることが確認できる。 07. 推進管の裏込め材料が十分充填されていることが確認できる。 08. マンホールにおいて、連結部には止水シール・止水ゴムが適切に使用されており、各部材にはクラックや漏水が無いことが確認できる。 09. マンホールの足掛金物の位置、方向が適正であり、鉄蓋設置にガタツキがないことが確認できる。 10. インパートはその表面仕上げが適切であることが確認できる。 11. 施設内に土砂、モルタル、材料の断片が見当たらず、清掃されていることが確認できる。 12. 掘削時の土留め方法や推進時の推進方法による周辺地盤への影響が見られないことが確認できる。 13. 埋戻しにおいて、締固めが設計図書の仕様どおりに施工されており、工事終了後の沈下が見られない。 14. 舗装復旧において、その施工が仕様書の規定に従って実施されており、既設舗装との段差がないことが確認できる。 15. 緑石・柵・標識等の道路付属物の復旧が適切に行なわれていることが確認できる。 【シールドトンネルのみ適用】 16. ボルトの締付機、測定器のキャリブレーションを実施しており、締付確認が実施され、適切に記録が保管されていることが確認できる。 17. 裏込め注入の管理が適切に行われており、その記録が管理されていることが確認できる。 18. 日々計測管理を行っており、それに基づいた施工が行われたことが確認できる。																																								
① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。			【判断基準】																																								
評価値（％）：— 評定：— ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。			<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> 注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。													評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																							
	50%以下	80%以下	80%を超える																																								
90%以上	a	a'	b	b																																							
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																							
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																							
60%未満	b'	c	c	c																																							

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	下水道工事 改築(管更生)工事	配点: +15	配点: +12	配点: +7.5	配点: +4	配点: 0	配点: -12.5	配点: -25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている <input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている <input type="checkbox"/> cより優れている <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。				
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照						
			評価対象項目 01. 下水道工事において、仕様書等で定められている品質管理が実施されている。 02. 材料の規格・品質が試験成績表等(現物照合含む)により確認できる。 03. 管渠に漏水箇所がないことが確認できる。 04. 施設内に土砂、材料の断片が見当たらず、清掃されていることが確認できる。 05. 設計図書及び現場調査に基づき、更生管の設計を行うとともに、管の仕様等を決定し、監督員の確認を得ているか確認できる。 06. 前処理の事前調査及び前処理後の出来ばえが確認できる。 07. 更生工の直前に管渠内の洗浄を充分に行っているか確認できる。 08. 洗浄後にビデオ、または目視にて、管渠内が充分に洗浄されていることがわかる。 09. 更生材料が現場到着後の資材管理が適正に処理されているか確認できる。 10. 管径毎の更生材料反転速度、反転挿入時更生材温度が適温であるか確認できる。 11. 更生材料の硬化管理は、硬化時更生材料内圧力管理、硬化温度管理、硬化時間管理及び冷却養生時間管理が記録書類で確認できる。 12. 更生管内のビデオ等で更生材製造証明番号が確認できる。 13. 曲げ強度、曲げ弾性率が規格値を上回っていることが確認できる。 14. 更生管内の仕上がり状況がビデオ等で確認できる。						
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。						
			評価値(%) : - 評定: -						
			※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。						

[判断基準]

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	土木工事 (維持工事)	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がbより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> 品質管理がcより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理が他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。
<p>評価対象項目 (共通)</p> <p><input type="checkbox"/> 01. 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認が適宜・適確に行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 02. 構造物の劣化状況をよく把握し、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 03. 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造について、提案を行うなど、積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 04. 緊急的な作業において、迅速かつ適切に対応していることが確認できる。</p> <p>(その他)</p> <p><input type="checkbox"/> 05. その他 (理由：)</p> <p><input type="checkbox"/> 06. その他 (理由：)</p> <p><input type="checkbox"/> 07. その他 (理由：)</p> <p><input type="checkbox"/> 08. その他 (理由：)</p> <p>該当6項目以上 . . . a</p> <p>該当4項目以上 . . . a' または b</p> <p>該当3項目以下 . . . b' または c</p> <p>注) 共通の4項目を必須の評価対象項目とし、このほかにも下欄から適宜項目の記号を追加して評価するものとする。ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p>									
<p>評価：— 配点：—</p>			<p>※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。</p>						

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	土木工事(修繕工事)	配点: +15	配点: +12	配点: +7.5	配点: +4	配点: 0	配点: -12.5	配点: -25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がbより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> 品質管理がcより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理が他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。
<p>評価対象項目 (共通)</p> <p><input type="checkbox"/> 01. 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認が適宜・適確に行っていることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 02. 構造物の劣化状況をよく把握し、適切な対策を施していることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 03. 監督員の指示事項に対して、現地状況を勘案し、施工方法や構造について、提案を行うなど、積極的に取り組んでいることが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 04. 施工後のメンテナンスに対する提言や修繕サイクル等を勘案した提案等を行っていることが確認できる。</p> <p>(その他)</p> <p><input type="checkbox"/> 05. その他 (理由:)</p> <p><input type="checkbox"/> 06. その他 (理由:)</p> <p><input type="checkbox"/> 07. その他 (理由:)</p> <p><input type="checkbox"/> 08. その他 (理由:)</p> <p>該当6項目以上 . . . a</p> <p>該当4項目以上 . . . a'またはb</p> <p>該当3項目以下 . . . b'またはc</p> <p>注) 共通の4項目を必須の評価対象項目とし、このほかに下欄から適宜項目の記号を追加して評価するものとする。ただし、評価対象項目は最大8項目とする。</p> <p>評定: — 配点: —</p> <p>※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。</p>									

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	土木その他工事 (歩道工・情報ボックス設置工)	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照						
			評価対象項目 【歩道工工事】 <input type="checkbox"/> 01. 平板ブロック、インターロッキングブロックに、欠け・クラック等が無く、品質（強度、透水量等）が資料により確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 目地の処理が適切に行われたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. マンホールや敷地境のすり付け処理が丁寧に行われたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 排水勾配が適切に施工されたことが確認できる。 【情報ボックス設置工事】 <input type="checkbox"/> 05. 張芝等法面処理が適切に行われたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. 舗装等表面処理が適切に行われたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 情報ボックス本体（外管）・ハンドホールの埋戻しが、不等沈下しないよう適切な機種で十分締固めされており、特記仕様書に基づく品質を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 08. 情報ボックス本体（外管）が滞水が生じないように、ハンドホール間で片勾配の設置がされており、特記仕様書に定められた規格値を満足していることが確認できる。						
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。						
			評価値（％）：－ 評定：－ ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。						

【判断基準】

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a 配点：+15	a' 配点：+12	b 配点：+7.5	b' 配点：+4	c 配点：0	d 配点：-12.5	e 配点：-25																					
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	上記以外の工事または合併工事（バラツキによる評価が適切な工事）	<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																					
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																											
			評価対象項目 <table style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width:5%; text-align:center;">□</td><td style="width:15%;">01. その他</td><td style="width:15%;">(理由：.....)</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">□</td><td>02. その他</td><td>(理由：.....)</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">□</td><td>03. その他</td><td>(理由：.....)</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">□</td><td>04. その他</td><td>(理由：.....)</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">□</td><td>05. その他</td><td>(理由：.....)</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">□</td><td>06. その他</td><td>(理由：.....)</td></tr> <tr><td style="text-align:center;">□</td><td>07. その他</td><td>(理由：.....)</td></tr> </table>							□	01. その他	(理由：.....)	□	02. その他	(理由：.....)	□	03. その他	(理由：.....)	□	04. その他	(理由：.....)	□	05. その他	(理由：.....)	□	06. その他	(理由：.....)	□	07. その他	(理由：.....)
□	01. その他	(理由：.....)																												
□	02. その他	(理由：.....)																												
□	03. その他	(理由：.....)																												
□	04. その他	(理由：.....)																												
□	05. その他	(理由：.....)																												
□	06. その他	(理由：.....)																												
□	07. その他	(理由：.....)																												
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																											
			評価値（％）：－ 評定：－																											
			※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。																											

[判断基準]

	ばらつきで判断可能			
	50%以下	80%以下	80%を超える	
評価値	90%以上	a	a'	b
	75%以上90%未満	a'	b	b'
	60%以上75%未満	b	b'	c
	60%未満	b'	c	c

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a 配点：+15	a' 配点：+12	b 配点：+7.5	b' 配点：+4	c 配点：0	d 配点：-12.5	e 配点：-25	
3	II 品質	機械設備工事・電気設備工事	<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。	
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 製作着手前に、品質や性能の確保に係る技術検討を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 材料・部品の品質照合の結果が品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 設備の機能及び性能を、承諾図書のとおり確保していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 設計図書の仕様を踏まえた詳細設計を行い、承諾図書として提出していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 05. 機器の品質、機能及び性能が設計図書を満足して、成績書にまとめられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. 溶接管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 07. 塗装管理基準の品質管理項目について、品質管理書類を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 08. 操作スイッチや表示灯が承諾図書のとおり配置され、操作性に優れていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 設備の総合性能が、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 小配管、電気配線、配管が承諾図書のとおり敷設していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 現場条件によって機器（製品）の機能及び性能が確認できない場合において、工場試験などで確認していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 15. 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 16. 機器の配置が点検しやすいよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 17. 設備の構造や機器の配置が、部品等の交換作業を容易にできるように工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 18. 二次コンクリートの配合試験及び試験練りを実施し、試験成績表にまとめていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 19. バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 20. 計器類に運転時の適用範囲を見やすく表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 21. 充電部や回転部・高温部等の危険箇所に表示又は防護をしていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 22. 構造物の劣化状況をよく把握して、適切な対策を施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 23. 現地状況を勘案し、施工方法等についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 24. その他（理由： _____） ※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。							
			評価値が90%以上 ... a [判断基準] 評価値が80%以上～90%未満 ... a' 評価値が70%以上～80%未満 ... b 評価値が60%以上～70%未満 ... b' 評価値が60%未満 ... c	① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合にはC評価とする。						
			評価値（%）： - 評定： -							
※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。										

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ — 共通工事 —	II 品質	電気 通信 工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。 <input type="checkbox"/> bより優れている。 <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。 <input type="checkbox"/> cより優れている。 <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。				
評価対象項目			01. 設計図書に定められている品質管理を実施していることが確認できる。 02. 材料及び構成部品の品質及び形状について、設計図書等と適合が確認できる証明書等を整備していることが確認できる。 03. 材料の品質照合の結果が、品質保証書等（現物照合を含む）で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 04. 設備、機器の品質、機能及び性能が、成績等で確認でき、設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 05. ケーブル及び配管の接続などの作業が、施工計画書に記載された手順に沿って行われ、不具合が無いことが確認できる。 06. 設備全体としての運転性能が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 07. 完成図書において、設備の機能並びに性能及び操作方法が容易に判別できる資料を整備していることが確認できる。 08. 完成図書において、単体品の製造年月日及び製造者が判別できる資料を整備していることが確認できる。 09. 設備全体及び各機器において、設計図書に規定した品質及び性能を工場試験記録により確認できる。 10. 設備全体についての取扱説明書を工夫し作成（修繕（改造・更新含む）の場合は、修正又は更新）していることが確認できる。 11. 完成図書で定期的な点検や交換を要する部品及び箇所を明示していることが確認できる。 12. 設備の構造において、点検や消耗品の取替え作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 13. その他（理由： _____） ※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。						
評価値が90%以上 . . . a 評価値が80%以上～90%未満 . . . a' 評価値が70%以上～80%未満 . . . b 評価値が60%以上～70%未満 . . . b' 評価値が60%未満 . . . c			評価方法 ① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合は、C評価とする。						
評価値（%）：— 評定：—			※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。						

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a 配点：+15	a' 配点：+12	b 配点：+7.5	b' 配点：+4	c 配点：0	d 配点：-12.5	e 配点：-25																											
3 出来形及び出来ばえ — 建築工事 —	II 品質	建築工事	<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																											
			<p>評価対象項目 (躯体工事)</p> <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>01. 材料・製品の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>02. 品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>03. 施工の各段階における完了状態について、良好な品質を確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>04. 施工の品質が、適切であることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>05. 不可視部分の品質が工事写真で、的確に確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>06. 中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>07. その他 (理由：.....)</td></tr> </table> <p>※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。</p> <p>(仕上工事)</p> <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>08. 材料・製品の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>09. 品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>10. 施工の各段階における完了状態について、良好な品質を確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>11. 施工の品質が、適切であることが確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>12. 不可視部分の品質が工事写真で、的確に確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>13. 中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/></td><td>14. その他 (理由：.....)</td></tr> </table> <p>※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>評価値が90%以上 a 評価方法</p> <p>評価値が80%以上～90%未満 a' ① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。</p> <p>評価値が70%以上～80%未満 b ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。</p> <p>評価値が60%以上～70%未満 b'</p> <p>評価値が60%未満 c ③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数</p> <p>④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p> </div> <p>評価値(%)：— 評定：—</p>							<input type="checkbox"/>	01. 材料・製品の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	02. 品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。	<input type="checkbox"/>	03. 施工の各段階における完了状態について、良好な品質を確認できる。	<input type="checkbox"/>	04. 施工の品質が、適切であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	05. 不可視部分の品質が工事写真で、的確に確認できる。	<input type="checkbox"/>	06. 中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。	<input type="checkbox"/>	07. その他 (理由：.....)	<input type="checkbox"/>	08. 材料・製品の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	09. 品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。	<input type="checkbox"/>	10. 施工の各段階における完了状態について、良好な品質を確認できる。	<input type="checkbox"/>	11. 施工の品質が、適切であることが確認できる。	<input type="checkbox"/>	12. 不可視部分の品質が工事写真で、的確に確認できる。	<input type="checkbox"/>	13. 中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	01. 材料・製品の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	02. 品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	03. 施工の各段階における完了状態について、良好な品質を確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	04. 施工の品質が、適切であることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	05. 不可視部分の品質が工事写真で、的確に確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	06. 中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	07. その他 (理由：.....)																																			
<input type="checkbox"/>	08. 材料・製品の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	09. 品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	10. 施工の各段階における完了状態について、良好な品質を確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	11. 施工の品質が、適切であることが確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	12. 不可視部分の品質が工事写真で、的確に確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	13. 中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。																																			
<input type="checkbox"/>	14. その他 (理由：.....)																																			
<p>※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。</p>																																				

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3	II	品質	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。
出来形及び出来ばえ — 建築工事 —		電気設備工事	評価対象項目 01. 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 02. 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の内容が適切であり、品質が確認できる。 03. 品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。 04. 品質が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。 05. システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足し良好であることが確認できる。 06. 不可視部分となる品質が、工事写真等での確認できる。 07. 機器の機能及び性能が工場試験成績書等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 08. 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 09. 機器等の点検や消耗品の取替作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 10. 中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 11. その他 (理由：) ※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。						
			評価値が90%以上 評価値が80%以上～90%未満 評価値が70%以上～80%未満 評価値が60%以上～70%未満 評価値が60%未満	a a' b b' c	評価方法 ① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。				
			評価値(%)：— 評定：—						
			※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。						

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ — 建築工事 —	II 品質	暖 冷 房 衛 生 設 備 工 事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。		
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 機材の品質が、承諾図等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 施工の各段階における完了時の試験方法及び記録の内容が適切であり、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 品質確認記録の内容が適切であり、品質が確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 品質が設計図書を満足し、適切な施工であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 05. システムの性能及び機能に関する試運転、確認方法等が適切であり、記録の内容が設計図書を満足し良好であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. 不可視部分となる品質が、工事写真等での確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 機器の機能及び性能が工場試験成績書等により確認でき、設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 08. 操作制御関係の機能及び性能が、設計図書の仕様を満足しているとともに、必要な安全装置及び保護装置の作動が確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. 機器等の点検や消耗品の取替作業が容易にできるよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. バルブ類の平時の状態を示すラベルなどが見やすい状態で表示していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 中間検査や既済検査での創意工夫や良好な施工の品質が、継続して確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. その他（理由： _____）						
			※評価項目に加える場合は、必ず理由を記入する。 評価値が90%以上 . . . a 評価値が80%以上～90%未満 . . . a' 評価値が70%以上～80%未満 . . . b 評価値が60%以上～70%未満 . . . b' 評価値が60%未満 . . . c						
			評価方法 ① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。						
			評価値（%）：－ 評定：－						
			※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。						

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3	II 品質	ほ場整備工事 (整地工 用排水路工 道路工 暗渠排水工 二次製品水路)	配点: +15	配点: +12	配点: +7.5	配点: +4	配点: 0	配点: -12.5	配点: -25																												
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																												
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する。<判断基準参照> 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																		
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 材料の品質証明書が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 現場内の地表水を排除し、ドライの状態で行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 濁水発生防止等環境に十分留意して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 05. 石レキ、根株等の処理は仕様書に定められたとおり実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. 表土剥ぎ取り、基盤切盛、基盤整地、表土整地等は仕様書及び設計図書により施工され仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 07. 水口工・吐口工の設置位置や設置高さが、ほ場面標高を考慮して施行されている。 <input type="checkbox"/> 08. 用・排水路の施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. 用・排水路の線形・法面の施工が仕様書等により実施されている。 <input type="checkbox"/> 10. 構造物側面の埋め戻しにおいて、仕様書等で示す条件により締め固めが実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 二次製品との取り付け部コンクリート構造物において、きめ細かな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> 12. 二次製品の据付に際し、敷きモルタル及び連結部の締め付けの適正な施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 暗渠排水の管の布設が所定の深さで、凹凸がなく一定勾配で施工されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. 暗渠排水の被覆材の施工及び管の埋戻しが、適期に仕様書等に示す条件で施工されていることが確認できる。																																		
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率(%)で評価する。 ③ 評価値(%) = (レ) 評価数 / (レ) 対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																		
			評価値(%) : - 評定 : - ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。																																		
			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>					評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	
			(注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目(評価値)だけで判断する。																																		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	ため池工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞						
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照						
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 材料の品質証明書が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 基礎処理工要領書及び盛り立て要領書に示された規定に従い、適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 04. 施工基面及び法面が平滑に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 05. 雨水による崩壊が起らないように排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. 気象条件を考慮した施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 鉄筋の加工・組立及びコンクリートの打設、締固め、養生等が適切に実施され、きめ細かな施工が確認できる。 <input type="checkbox"/> 08. コンクリートの供試体が当該現場のものであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. 遮水工の施工が仕様書に従い適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 10. 地盤改良の施工が仕様書に従い適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 11. 盛土、フィルター工等の施工が仕様書に従い、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 12. 旧底樋の処理が適切と確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 計測機器類が仕様書に従い、適切に設置されている。						
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。						
			評価値（％）：— 評定：— ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。						

[判断基準]

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3	II	品質	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている <input type="checkbox"/> bより優れている。 <input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている <input type="checkbox"/> cより優れている。 <input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。				
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照						
			評価対象項目 01. 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。 02. 材料の規格・品質証明書が整備されていることが確認できる。 03. 管周辺部について仕様書等で示す条件により締固めが実施されている。 04. 管継手部及びマンホール連結部の目地仕上げ、止水シール、止水ゴムが適切に施工されている。 05. 管上部の埋め戻しにおいて締固めが適切な方法で施工されており、工事終了後の沈下が見られない。 06. 管の両側面が均等に埋め戻されていることが確認できる。 07. 地盤面、基礎面に不陸が生じていないことが確認できる。 08. コンクリート構造物にきめ細かな施工がうかがえる。						
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。						
			評価値（％）：－ 評定：－						
			※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。						

[判断基準]

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																													
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	コンクリート二次製品水路工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																													
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																													
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞																																			
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																			
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 仕様書等で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 材料の品質証明書が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 線形・法面の施工が仕様書等により実施されている。 <input type="checkbox"/> 05. 仕様書で示す条件により、埋戻し・締固めが実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. 護岸等の根入れが図面どおりに実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. コンクリート構造物において、きめ細かな施工がうかがえる。 <input type="checkbox"/> 08. 目地が良好に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 09. 二次製品の据付に際し、敷きモルタル及び連結部の締め付け等の適正な施工が確認できる。																																			
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																			
			評価値（％）：— 評定：— ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。																																			
			【判断基準】 <table border="1" style="float: right;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																		
	50%以下	80%以下	80%を超える																																			
90%以上	a	a'	b	b																																		
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																		
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																		
60%未満	b'	c	c	c																																		
			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																			

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a 配点：+15	a' 配点：+12	b 配点：+7.5	b' 配点：+4	c 配点：0	d 配点：-12.5	e 配点：-25
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	森林整備工事 植栽・保育	<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照						
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 仕様書で定められている品質管理が実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 材料の品質証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 03. 地拵への施工にあたり、木竹、低木等が地際から丁寧に刈り払い、伐倒されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 伐倒木や枝桠等が適切に集積されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 05. 苗木の仮植に当たり、適切な場所を選択し、乾燥を防ぐための措置がなされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. 植栽にあたり、配植、整枝、剪定が適切に行われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. 植栽木に損傷や病虫害がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 08. 植栽にあたり、苗木の生育、保管管理に配慮したきめ細かな施工がなされていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. 施肥及び土壌改良の施工にあたり、苗木の生育に配慮したきめ細かな注意がうかがえる。 <input type="checkbox"/> 10. 下刈り、除伐の施工にあたり、植栽木への損傷がなく、低い位置で丁寧に刈（切）払われていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 11. 下刈り、除伐の施工にあたり、除伐対象木等の刈（切）残しがないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 12. 枝落としの施工にあたり、樹幹への損傷がなく、切り口がきれいであることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 13. 本数調整伐の施工にあたり、選木が適切で残存木への損傷もないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 14. グライド防止の施工が適切で、きめ細かく施工されていることが確認できる。						
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。 ③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。						
			評価値（％）：— 評定：— ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。						

[判断基準]

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																											
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	木製 構造物 工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																											
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																											
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞																																	
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																	
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 材料の品質及び形状について、設計図書等に適合していることが確認でき、証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 02. 施工基面が図面どおり実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 構造物の中詰等が適切で、裏込材等の吸い出しの恐れがないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 材料に損傷や補修痕がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 05. 構造物の締め付け固定が確実に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 06. 端部のすりつけ等、きめ細かい注意がうかがえる。 <input type="checkbox"/> 07. 各工種の特徴、要点を理解し、施工に創意工夫が見られる。 <input type="checkbox"/> 08. その他（理由： _____）																																	
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。																																	
			評価値（%）： — 評定： — ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。																																	
			[判断基準] <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>						評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																
	50%以下	80%以下	80%を超える																																	
90%以上	a	a'	b	b																																
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																
60%未満	b'	c	c	c																																
			注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。																																	

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	II 品質	なだれ柵工事等	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている <input type="checkbox"/> bより優れている 品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞ 【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照	<input type="checkbox"/> bより優れている <input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている <input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。	
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 柵の規格がミルシートで確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 柵の配置、締付固定が適切に実施されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 植栽木（苗木）の規格が揃っており、損傷や病虫害がないことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. 植栽間隔、植栽方法、時期、範囲が適切であることが確認できる。 【つり柵】 <input type="checkbox"/> 05. アンカー、ワイヤーロープの品質証明書が整備されている。 <input type="checkbox"/> 06. 土砂アンカー、岩アンカーに規定の引張強度が確認できる。 <input type="checkbox"/> 07. ワイヤーロープの規定角度が適切であることが確認できる。 【人柵】 <input type="checkbox"/> 08. 土工は、過掘りがなく、構造物周辺の締固、残土処理等が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 09. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練が行われており、適切なコンクリートの規格が確認できる。 <input type="checkbox"/> 10. コンクリートの強度・スランプ・空気量等が確認でき、また、運搬時間、打設時の投入高さ、バイブレーターによる締固、養生方法等を適切に行っていることも確認できる。						
			① 評価の対象項目とする場合は、左□にレマークを入れること。 ② 左□にチェックした評価項目数を母数とし、右□にチェックした評価項目数を分子とし、比率（%）で評価する。 ③ 評価値（%）＝（レ）評価数 / （レ）対象評価項目数 ④ なお、左□にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。						
			評価値（%）： - 評定： - ※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。						

[判断基準]

評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能
	50%以下	80%以下	80%を超える	
90%以上	a	a'	b	b
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'
60%以上75%未満	b	b'	c	c
60%未満	b'	c	c	c

注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3	II	治山山腹工事・主にコンクリート工事を主体としない地滑り・堰堤工事	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25																												
出来形及び出来ばえ ！土木工事！	品質		<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている	<input type="checkbox"/> bより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> cより優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。																												
			品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況（評価値）から判断する。＜判断基準参照＞																																		
			【関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験】 ※ ばらつきの判断は別紙-4参照																																		
			評価対象項目																																		
			【土工事】																																		
			<input type="checkbox"/> 01. 雨水等による崩壊が起こらないように、排水対策を実施していることが確認できる。																																		
			<input type="checkbox"/> 02. 段切り等が施工前に適切に行われていることが確認できる。																																		
			<input type="checkbox"/> 03. 置き換えのための掘削を行うにあたり、掘削面以下を乱さないように施工していることが確認できる。																																		
			<input type="checkbox"/> 04. 構造物周辺の締め固め等の処理を適正に行っていることが確認できる。																																		
			【コンクリート小構造物工事】																																		
			<input type="checkbox"/> 05. 設計図書に基づくコンクリートの配合試験、又は試験練が行われており、適切なコンクリートの規格が確認できる。																																		
			<input type="checkbox"/> 06. コンクリート打設時の必要な供試体採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。																																		
			<input type="checkbox"/> 07. 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設時の投入高さ、パイプレークによる締固、養生方法等を適切に行っていることが確認できる。																																		
			【護岸工事】																																		
			<input type="checkbox"/> 08. 施工基面が平滑に仕上げられていることが確認できる。																																		
			<input type="checkbox"/> 09. ブロック、石積み、鋼製法枠、かご等で材料のかみ合わせ、又は連結が適切で裏込材の吸出しの恐れがないことが確認できる。																																		
			<input type="checkbox"/> 10. 護岸工の端部や曲線部の処理・強度・水密性が適切であることが確認できる。																																		
			<input type="checkbox"/> 11. 遮水シートが所定の幅で重ね合わせられ、端部処理が適切であることが確認できる。																																		
			<input type="checkbox"/> 12. 根固工、水制工、沈床工、捨石工等で材料の連結、又はかみ合わせが適切であることが確認できる。																																		
			【法面工事】																																		
			<input type="checkbox"/> 13. ネット等の重ね幅が10cm以上確保されていることが確認できる。																																		
			<input type="checkbox"/> 14. 吹付け厚さが均等であることが確認できる。																																		
			<input type="checkbox"/> 15. アンカーの施工長さが確認できる。																																		
			<input type="checkbox"/> 16. 枠内に空隙がないことが確認できる。																																		
			<input type="checkbox"/> 17. 層間にはく離がないことが確認できる。																																		
			【二次製品工事】																																		
			<input type="checkbox"/> 18. 用・排水路の施工基面が平滑でとおりが良いことが確認できる。																																		
			<input type="checkbox"/> 19. 二次製品との取り付け部コンクリート構造物にきめ細やかな施工がうかがえる。																																		
			【植栽工事】																																		
			<input type="checkbox"/> 20. 植栽木に損傷や病害虫がないことが確認できる。																																		
			<input type="checkbox"/> 21. 植栽時期、方法が適切であることが確認できる。																																		
			<p>① 評価の対象項目とする場合は、左口にレマークを入れること。</p> <p>② 左口にチェックした評価項目数を母数とし、右口にチェックした評価項目数を分子とし、比率（％）で評価する。</p> <p>③ 評価値（％）＝（レ）評価数／（レ）対象評価項目数</p> <p>④ なお、左口にチェックした評価項目数が2項目以下の場合はC評価とする。</p>																																		
			<p>評価値 (x) : -- 評定 : --</p> <p>※ 総合評価簿方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。</p>																																		
			<p>[判断基準]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%を超える</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断が出来ない場合は、評価対象項目（評価値）だけで判断する。</p>						ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%を超える	90%以上	a	a'	b	b	75%以上90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c		
	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																																	
	50%以下	80%以下	80%を超える																																		
90%以上	a	a'	b	b																																	
75%以上90%未満	a'	b	b'	b'																																	
60%以上75%未満	b	b'	c	c																																	
60%未満	b'	c	c	c																																	

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3 出来形及び出来ばえ ―その他工事―	II 品質	土木その他工事 (取り壊し工)	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がbより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている	<input type="checkbox"/> 品質管理がcより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理が他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。
評価対象項目 【取り壊し工】 <input type="checkbox"/> 01. 施工計画書により定められた計画により管理されたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 02. 請負者の管理記録が整備されていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 03. 不可視部分の写真記録が適切であることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 04. その他 (理由：) <input type="checkbox"/> 05. その他 (理由：)									
判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a、a'、b、b'、c評価を行う。									
評価：－ 配点：－									
※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。									

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	a'	b	b'	c	d	e
3	II	品質	配点：+15	配点：+12	配点：+7.5	配点：+4	配点：0	配点：-12.5	配点：-25
			<input type="checkbox"/> 品質管理が優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がbより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がやや優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理がcより優れている。	<input type="checkbox"/> 品質管理が他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法または測定値が不適切であったため、監督員が文書で改善指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査員が不合格による修補指示を行った。
土木その他工事または合併工事 (バラツキによる評価が不適切な工事)			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. その他 (理由：) <input type="checkbox"/> 02. その他 (理由：) <input type="checkbox"/> 03. その他 (理由：) <input type="checkbox"/> 04. その他 (理由：) <input type="checkbox"/> 05. その他 (理由：) <input type="checkbox"/> 06. その他 (理由：) <input type="checkbox"/> 07. その他 (理由：)						
			判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a、a'、b、b'、c評価を行う。						
			評価：－ 配点：－						
			※ 総合評価落札方式で技術提供されている事項については、評価項目から除外する。						

3-4-1 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種等	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	道路改良・農道改良・林道・交通安全・路肩拡幅・歩道新設・災害防除工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 土工の通り、仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 02. コンクリート構造物の通り、表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> 03. 小構造物にも細心の注意が払われ、きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 04. 法面の植生又はコンクリート（モルタル）吹付け等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 05. 路盤の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 06. 土工・構造物のすりつけや端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 07. 民地との境界処理が良い。 <input type="checkbox"/> 08. 全体的な美観が良い。			
評定：— 配点：—			評定条件 該当6項目以上 . . . a 該当5項目 . . . b 該当4項目 . . . c 該当3項目以下 . . . d			

3-4-2 完成

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	コンクリート 構造物工事・砂防 構造物工事・海岸 工事・トンネル工 事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、 全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に 劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> 02. コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 03. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 04. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 05. 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 06. 全体的な美観が良い。			
			評定：— 配点：—	評定条件 該当5項目以上 . . . a 該当4項目 . . . b 該当3項目 . . . c 該当2項目以下 . . . d		

3-4-3 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	土工事—盛土・築堤工事等—	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、 全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に 劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 03. 天端及び端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 04. 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
			評価：— 配点：—	評定条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

3-4-4 完成

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	切土工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 規定された勾配が確保されている。 <input type="checkbox"/> 02. 切土法面の施工にあたって、法面の浮き石除去等、表面が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 03. 法面勾配の変化部には干渉部等を設け、適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 04. 施工面の木根等が確実に施工されている。 <input type="checkbox"/> 05. 滞水などによる施工面の損傷が発生しないよう処理が行なわれている。 <input type="checkbox"/> 06. 関係構造物との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 07. 全体的な美観が良い。			
評定：－ 配点：－			評定条件 該当5項目以上 . . . a 該当4項目 . . . b 該当3項目 . . . c 該当2項目以下 . . . d			

3-4-5 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	護岸・根固・水制工工事・海岸工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 材料のかみ合わせが良い、またはクラックがない。 <input type="checkbox"/> 02. 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 03. 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 04. 通りがよく全体的な美観が良い。						
			評定：— 配点：—	評定条件 該当3項目以上 . . . a 該当2項目 . . . b 該当1項目 . . . c 該当0項目以下 . . . d		

3-4-6 完成

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	鋼橋工事・雪寒鋼製構造物工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			<input type="checkbox"/> 01. 表面に補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 02. 部材表面に傷、錆がない。 <input type="checkbox"/> 03. 溶接に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 04. 塗装に均一性がある。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
			評価：— 配点：—	評定条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

3-4-7 完成

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	河川改良工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、 全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に 劣っている。
			<input type="checkbox"/> 01. 土工の通り、仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 構造物の通りが良い。又は連結状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 03. 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 04. 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 評定：－ 配点：－ </div>			評定条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d			

3-4-8 完成

工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考查項目	細別	工種	a	b	c	d
3	Ⅲ 出来ばえ	地滑り工事 — 法面に係る抑止工を除く — 治山深間工事 注 括弧内は集水井工事に適用する	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			<p>評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 01. コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> 02. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 03. 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 04. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 05. 法面の通りが良い。(施工管理記録等から、不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。) <input type="checkbox"/> 06. 植生、吹き付け等の状態が均一である。(排水処理が適切に実施されている。) <input type="checkbox"/> 07. 法面の端部処理が良い。(残土等は適切に処理されている。) <input type="checkbox"/> 08. 全体的な美観が良い。 注) 括弧内は集水井工事に適用する			
			評定：— 配点：—	評定条件 該当6項目以上 . . . a 該当5項目 . . . b 該当4項目 . . . c 該当3項目以下 . . . d		

3-4-9 完成

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	地滑り工事 — 水抜きボーリング —	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、 全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に 劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 地山との取り合いが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 天端、端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 03. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 04. 排水処理が適切に実施されている。 <input type="checkbox"/> 05. 通りがよく全体的な美観が良い。			
			評定：－ 配点：－	評定条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	舗装工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 舗装の平坦性が良い。 <input type="checkbox"/> 02. 構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 03. 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 04. 構造物へのすりつけ等が良い。 <input type="checkbox"/> 05. 雨水処理が良い。 <input type="checkbox"/> 06. 全体的な美観が良い。			
			評定：－ 配点：－	評定条件 該当5項目以上 . . . a 該当4項目 . . . b 該当3項目 . . . c 該当2項目以下 . . . d		

3-4-11 完成

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	法面工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 植生、吹付等の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 03. 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 04. 全体的な美観が良い。			
			評定：— 配点：—	評定条件 該当3項目以上 . . . a 該当2項目 . . . b 該当1項目 . . . c 該当0項目以下 . . . d		

3-4-12 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	基礎工工事—地盤改良等を含む—	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 土工関係の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 03. 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 04. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。 ※地盤改良はC評価とする。			
			評価：— 配点：—	評価条件 該当3項目以上 . . . a 該当2項目 . . . b 該当1項目 . . . c 該当0項目以下 . . . d		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	コンクリート橋工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> 02. コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 03. 天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 04. 支承部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 05. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 06. 全体的な美観が良い。			
			評価：－ 配点：－	評価条件 該当5項目以上 . . . a 該当4項目 . . . b 該当3項目 . . . c 該当2項目以下 . . . d		

3-4-14 完成

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	塗装工事—工場塗装を除く—	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 細部まできめ細かな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 02. 補修箇所がない。 <input type="checkbox"/> 03. ケレンの施工状況が良好である。 <input type="checkbox"/> 04. 塗装の均一性が良く、全体的な美観が良い。			
			評定：— 配点：—	評定条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	植栽工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、 全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に 劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 樹木の活着状況が良い。 <input type="checkbox"/> 02. 支柱の取り付けがきめ細かく施工されている。 <input type="checkbox"/> 03. 支柱の取り付けが堅固である。 <input type="checkbox"/> 04. 植栽帯の全体的な美観が良い。			
			評定：— 配点：—	評定条件 該当3項目以上 . . . a 該当2項目 . . . b 該当1項目 . . . c 該当0項目以下 . . . d		

3-4-16 完成

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	防護柵—網—工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 通りが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 03. 部材表面に傷、錆がない。 <input type="checkbox"/> 04. 既設構造物等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 05. きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 06. 全体的な美観が良い。			
			評価：— 配点：—	評定条件 該当5項目以上 . . . a 該当4項目 . . . b 該当3項目 . . . c 該当2項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	雪寒 P C 構造 物 工 事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> 02. コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 03. コンクリート構造物表面に気泡が目立たない。(又はプレキャスト部に欠損がなく、擦り傷が目立たない。) <input type="checkbox"/> 04. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 05. 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 06. 漏水がない。(又は連結部の仕上げが良い。) <input type="checkbox"/> 07. 全体的な美観が良い。			
評価：－ 配点：－			評定条件 該当6項目以上 . . . a 該当5項目 . . . b 該当4項目 . . . c 該当3項目以下 . . . d			

3-4-18 完成

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	雪害消雪配管工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 道路横断形状に対して設置位置が適切であり、通りが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 設置高さが適切で、舗装面とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 03. 起終点のすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 04. コンクリートや舗装表面にクラックがなく、均一な仕上がりとなっている。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
評価：— 配点：—			評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d			

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	雪寒さく井工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 設置位置周辺の仕上がりが良く、全体的な美観が良い。 <input type="checkbox"/> 02. 工事写真によりケーシングパイプの接続や位置に細かな配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 03. 揚水試験の結果が写真や報告書に的確に記録されており、取りまとめが良い。 <input type="checkbox"/> 04. 建設発生土や汚泥の処理を確実にを行うなど、周辺への影響がないことが現地で確認できる。			
			評定：— 配点：—	評定条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

3-4-20 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	標識工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 設置位置に配慮がある。 <input type="checkbox"/> 02. 標識の向き、角度、支柱の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 03. 標識板、支柱に変色がない。 <input type="checkbox"/> 04. 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
			評定：— 配点：—	評定条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

3-4-21 完成

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	区画線工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、 全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に 劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 塗料の塗布が均一である。 <input type="checkbox"/> 02. 視認性が良い。 <input type="checkbox"/> 03. 接着状態が良い。 <input type="checkbox"/> 04. 施工前の清掃が入念に実施されている。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
			評価：— 配点：—	評定条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	維持修繕工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 小構造物等にも細心の注意が払われている。 <input type="checkbox"/> 02. きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 03. 既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 04. 全体的な美観が良い。			
			評定：— 配点：—	評定条件 該当3項目以上 ··· a 該当2項目 ··· b 該当1項目 ··· c 該当0項目以下 ··· d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	上水道工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			<p>評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 01. 施工管理記録等から不可視部分の出来ばえの良さがうかがえる。</p> <p><input type="checkbox"/> 02. 仕切弁、消火栓及び量水器鉄蓋開閉方向が適切であり、鉄蓋にガタツキ・ズレがない。</p> <p><input type="checkbox"/> 03. 仕切弁、消火栓及び量水器の仕上がり天端高も管理基準値を満足しており、周囲は舗装をフルイ掛けされて仕上がり状態も良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 04. 道路及び宅地内の舗装復旧は既設舗装との段差がなく、仕上がり状態が良い。</p> <p><input type="checkbox"/> 05. 側溝・縁石・柵・標識等の道路付属物の復旧が適切に行われている。</p> <p><input type="checkbox"/> 06. 水圧試験により漏水がないことが確認できる。</p> <p><input type="checkbox"/> 07. 全体的な美観が良い。</p>			
<p>評定：— 配点：—</p>			<p>評定条件</p> <p>該当6項目以上 . . . a</p> <p>該当5項目 . . . b</p> <p>該当4項目 . . . c</p> <p>該当3項目以下 . . . d</p>			

3-4-24 完成

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	下水道工事—開削工・推進工—	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、 全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に 劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 管渠の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 02. マンホールの仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 03. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 04. 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
			評価：— 配点：—	評定条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	下水道工事—シールド工—	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> 02. コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 03. マンホールの仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 04. 天端及び端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 05. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 06. 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 07. 全体的な美観が良い。			
評定：— 配点：—			評定条件 該当6項目以上 . . . a 該当4項目 . . . b 該当3項目 . . . c 該当2項目以下 . . . d			

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

〔記入方法〕 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a 配点：+5	b 配点：+2.5	c 配点：0	d 配点：-5
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	下水道工事 改築（管更生）	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input checked="" type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 管渠の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 02. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 03. マンホールの管口仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 04. 取付け管との管口仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 05. 更生管内にシワがない。 <input type="checkbox"/> 06. 更生管内の仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 07. 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 08. 全体的な美観が良い。			
			評定：b 配点：+2.5	評定条件 該当6項目以上 . . . a 該当5項目 . . . b 該当4項目 . . . c 該当3項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 共通工事 —	Ⅲ 出来ばえ	機械設備工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、 全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に 劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 主設備、関連設備及び操作制御設備が全体的に統制されており、運転操作性がよい。 <input type="checkbox"/> 02. きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 03. 土木構造物、既設設備等とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 04. 溶接、塗装、組立等にあたって、細部に渡る配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
			評価：— 配点：—	評定条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ 共通工事	Ⅲ 出来ばえ	電気設備工事・通信設備工事・その他類似工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 主設備、関連設備等にきめ細やかな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 02. 公共物として安全性の確保、環境及び維持管理等への配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 03. 動作状態において、電氣的及び機械的な異常がなく、総合的な機能及び運用性がよい。 <input type="checkbox"/> 04. 当該設備及び関連設備が全体的に協調及び統制され、総合的な機能及び運用性がよい。 <input type="checkbox"/> 05. 操作、保守点検等の容易さを確保するための配慮がなされている。 <input type="checkbox"/> 06. 全体的な美観がよい。			
			評定：－ 配点：－	評定条件 該当5項目以上 . . . a 該当4項目 . . . b 該当3項目 . . . c 該当2項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 建築工事 —	Ⅲ 出来ばえ	建築工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. きめ細やかな施工がなされ、取り合いの納まりや端部までの仕上がりが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 関連工事又は既存部分との調整がなされ、全体に調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 03. 使い勝手や使用者の安全に対する配慮が適切である。 <input type="checkbox"/> 04. 仕上がりの状態が良好で色調が均一でむら等がない。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良好である。 <input type="checkbox"/> 06. 保全に配慮した施工がなされている。			
			評定：— 配点：—	評定条件 該当5項目以上 . . . a 該当4項目 . . . b 該当3項目 . . . c 該当2項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 建築工事 —	Ⅲ 出来ばえ	電気設備工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 02. 関連工事又は既存部分との調整がなされ、全体に調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 03. 機器又はシステムとして、運転状態、性能が優れている。 <input type="checkbox"/> 04. 環境負荷低減への対策が優れている。 <input type="checkbox"/> 05. 運転及び保守管理への対応が優れている。			
評価：— 配点：—			評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d			

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 建築工事 —	Ⅲ 出来ばえ	暖冷房衛生設備工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. きめ細やかな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 02. 関連工事又は既存部分との調整がなされ、全体に調和が良い仕上がりである。 <input type="checkbox"/> 03. 機器又はシステムとして、運転状態、性能が優れている。 <input type="checkbox"/> 04. 環境負荷低減への対策が優れている。 <input type="checkbox"/> 05. 運転及び保守管理への対応が優れている。			
			評価：— 配点：—	評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

工事成績採点の考查項目の考查項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考查項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	ほ場整備工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、 全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に 劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 土工 (畦畔、溝畔等) 及び水路等の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 整地の均平度が良い。 <input type="checkbox"/> 03. 小構造物に注意が払われ、きめ細かな施工がなされている。 <input type="checkbox"/> 04. 全体的な美観が良い。			
			評価：— 配点：—	評定条件 該当3項目以上 . . . a 該当2項目 . . . b 該当1項目 . . . c 該当0項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	ため池工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
評価対象項目 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 01. 土工の仕上げが良い。(掘削工、盛立工ほか) <input type="checkbox"/> 02. 土工の通りが良い。(掘削工、盛立工ほか) <input type="checkbox"/> 03. 土工の構造物等へのすりつけが良い。(掘削工、盛立工ほか) <input type="checkbox"/> 04. 吹きつけ(植生、モルタル等)の状態が均一である。 <input type="checkbox"/> 05. コンクリート構造物の表面状態が良い。 <input type="checkbox"/> 06. コンクリート構造物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 07. 法面部仕上げ、天端仕上げ、端部仕上げ等が良い。 <input type="checkbox"/> 08. クラックがない。 <input type="checkbox"/> 09. 漏水がない。 <input type="checkbox"/> 10. 施設の通りが良い。(排水側溝、フェンス等) <input type="checkbox"/> 11. 全体的な美観が良い。 						
			評価：－ 配点：－	評定条件 <ul style="list-style-type: none"> 該当10項目以上 . . . a 該当9項目 . . . b 該当8項目 . . . c 該当7項目以下 . . . d 		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	管水路工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、 全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に 劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 管の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 02. コンクリート建造物の表面状態や通りが良い。 <input type="checkbox"/> 03. 復旧工や建造物とのすりつけ及び端部処理が良い。 <input type="checkbox"/> 04. クラック及び陥没がない。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
			評価：— 配点：—	評定条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【記入方法】該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	コンクリート二次製品水路工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 水路及び土工の通り・仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 水路の目地間隔が均一で漏水がない。 <input type="checkbox"/> 03. 土工及び水路の構造物等へのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 04. コンクリート構造体の通り及び仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 05. クラックや破損がない。 <input type="checkbox"/> 06. 施設の通りが良い。(排水側溝、フェンス等) <input type="checkbox"/> 07. 全体的な美観が良い。			
評定：— 配点：—			評定条件 該当6項目以上 . . . a 該当5項目 . . . b 該当4項目 . . . c 該当3項目以下 . . . d			

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	森林整備工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 植栽、保育作業の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 伐倒木、枝条等が適切に処理されている。 <input type="checkbox"/> 03. 植栽木（植生）が健全で、良好な生育が期待できる。 <input type="checkbox"/> 04. 全体的な美観が良い。			
			評定：— 配点：—	評定条件 該当3項目以上 . . . a 該当2項目 . . . b 該当1項目 . . . c 該当0項目以下 . . . d		

3-4-38 完成

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	木製 構造物 工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、 全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全 体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に 劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 地山・既設構造物とのすりつけが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 構造物周辺の整地等が適切に施工されている。 <input type="checkbox"/> 03. 標識板、支柱に変色がない。 <input type="checkbox"/> 04. 支柱基礎の埋め戻し等が入念に施工されている。			
評定：— 配点：—			評定条件 該当3項目以上 a 該当2項目 b 該当1項目 c 該当0項目以下 d			

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	治山山腹工事及び主にコンクリート工事を主体としない地滑り、堰堤工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			<p>評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 01. 土工の通り、仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 02. 材料のかみ合わせ、主鋼構造物の通りが良く、連結状況も良好である。 <input type="checkbox"/> 03. 天端、端部の仕上げが良い。 <input type="checkbox"/> 04. 既構造物とのすり付けが良い。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的な美観が良い。			
			<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 評定：－ 配点：－ </div>	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>評定条件</p> 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d </div>		

3-4-40 完成

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

【記入方法】 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	なだれ柵工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 構造物の通りが良く、連結状況も良好である。 <input type="checkbox"/> 02. 部材表面に傷、錆がない。 <input type="checkbox"/> 03. 植栽木（苗木）が健全で、良好な育成が期待できる。 <input type="checkbox"/> 04. 全体的な美観が良い。			
			評定：－ 配点：－	評定条件 該当3項目以上 . . . a 該当2項目 . . . b 該当1項目 . . . c 該当0項目以下 . . . d		

工事成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

(第三次評定者)

考査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	しゅんせつ工事（港湾築造工事を除く）	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 施工管理記録等から浚渫完了状態の良さがうかがえる。 <input type="checkbox"/> 02. 浚渫後の河床（湖床）に極端な凹凸がない。 <input type="checkbox"/> 03. 浚渫土の搬出先に不陸が生じない工夫が見られる。 <input type="checkbox"/> 04. 浚渫土の最終運搬先が平坦に仕上げられている。 <input type="checkbox"/> 05. 全体的にきめ細かな施工が伺える。			
			評価：－ 配点：－	評価条件 該当4項目以上 . . . a 該当3項目 . . . b 該当2項目 . . . c 該当1項目以下 . . . d		

工事成績採点の審査項目の審査項目別運用表

(第三次評定者)

[記入方法] 該当する項目の□にレマークを記入する。

審査項目	細別	工種	a	b	c	d
3 出来形及び出来ばえ — 土木工事 —	Ⅲ 出来ばえ	その他の工事 または 合併工事	配点：+5	配点：+2.5	配点：0	配点：-5
			<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的に優れている。	<input type="checkbox"/> 仕上げがきめ細かく、全体的にやや優れている。	<input type="checkbox"/> 他の評価に該当しない。	<input type="checkbox"/> 仕上げが悪く、全体的に劣っている。
			評価対象項目 <input type="checkbox"/> 01. 理由 (.....) <input type="checkbox"/> 02. 理由 (.....) <input type="checkbox"/> 03. 理由 (.....) <input type="checkbox"/> 04. 理由 (.....) <input type="checkbox"/> 05. 理由 (.....)			
※該当工種からの審査事項で審査し、最大審査項目は5項目とする。						
評定：— 配点：—			評定条件 該当4項目以上 a 該当3項目 b 該当2項目 c 該当1項目以下 d			